



lixil コントローラーユニット 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警告

- 電気工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。法令、規定及び取付け説明書にしたがわず誤った工事を行うと事故や故障につながるおそれがあります。
- AC100V 用電源線は指定の箇所に指定の方法通りに差込んでください。差込みが不十分な場合、火災や焼損のおそれがあります。
- コントローラーユニットなど AC100V を直接接続する機器の取付けは、ブレーカー (AC100V) を切った状態で行ってください。感電のおそれがあります。

■機器の設置で注意して頂きたいこと

●屋内に取付ける機器 (コントローラーユニットなど) は、次のような設置場所は避けてください。故障や感電等の原因になります。

- ・水や雨のかかる場所や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所
- ・極端に寒い場所・暑い場所 (冷暖房の近くや直射日光の当たる場所)
- ・ガラス窓から近い場所 (ガラスを破られ、施錠ボタンから解錠されるおそれがあります。)



●玄関ドアとコントローラーユニット間が付属の躯体内配線コード (10m) で届かない場合は専用の躯体内配線コード (15m、20m) に取り換えてください。配線を継ぎ足す延長はできません。

●リモコンキーの取扱いについては以下の点にご注意ください。

- (1) 落下などによる衝撃や強い力を加えないでください。壊れるおそれがあります。
- (2) 水の中に落とす、流水をかけるなどは行わないでください。
- (3) 車内など高温になる場所で保管しないでください。
- (4) 電源 ON 状態のリモコンキーをテレビやパソコンなど電磁波を発する機器の近くや 135kHz 帯の電波を利用している機器 (玄関ドアを含む) の周辺には置かないでください。電池寿命が短くなります。

●コントローラーユニットの設定・動作確認等については部品箱同梱の取付け説明書または電気錠取扱いポイントブックをご覧ください。



電気錠取扱いポイントブック

電気錠を正しく設置・施工いただくために、各工程ごとの注意点をまとめたポイント BOOK をご確認ください。

(設計・組立・施工・電気工事店様向け)

<https://s.lixil.com/door-001>

機器の取付け、配線工事をするには電気工事士の資格が必要です。

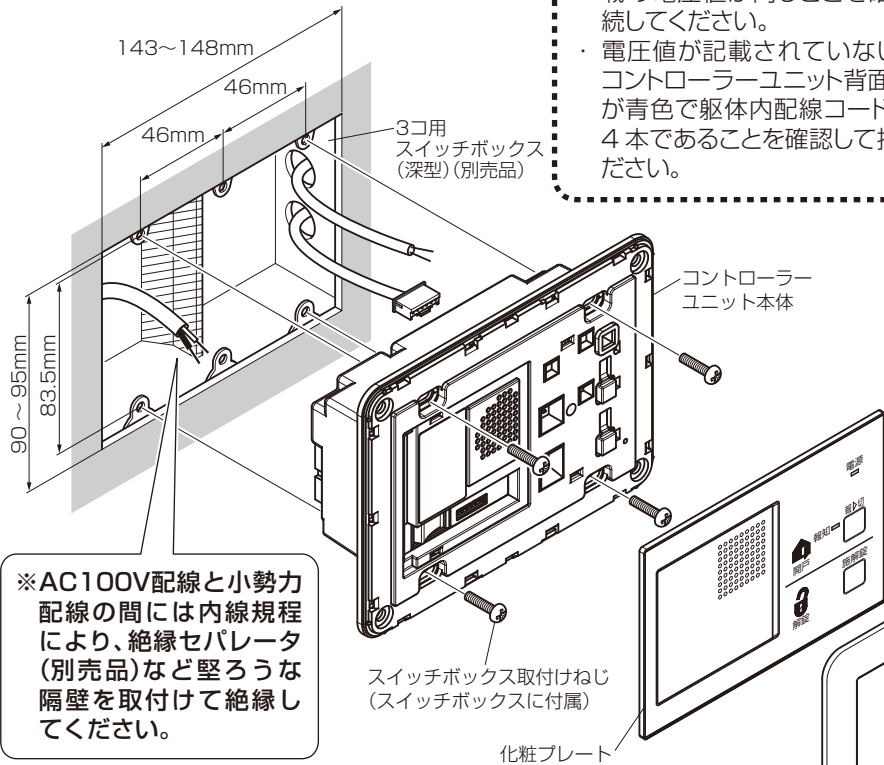
■コントローラーユニットの取付け

●コントローラーの取付けは、『1/4 機器の設置で注意して頂きたいこと』を守って以下の通り、設置してください。

1 ボックス取付けの場合

●プレート、化粧プレートをコントローラーユニットから一旦外し、『■配線工事方法』と下の図を参考に取付けを行ってください。

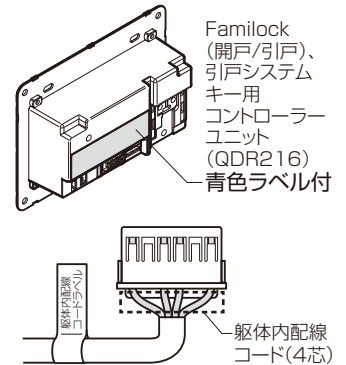
※ねじの締付けトルク(推奨) : 0.6N・m {6kgf・cm}



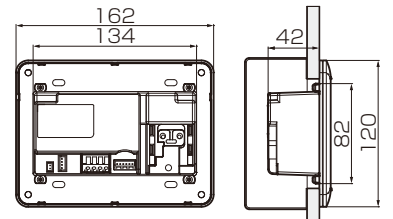
※AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程により、絶縁セパレータ(別売品)など堅ろうな隔壁を取付けて絶縁してください。

お願い

- ※コントローラーユニットは商品ごとに品番が異なります。接続については以下の点にご注意ください。故障の原因となります。
- ・ 躯体内配線コードのラベルとコントローラーユニット背面のラベルに記載の電圧値が同じことを確認して接続してください。
- ・ 電圧値が記載されていない場合は、コントローラーユニット背面のラベルが青色で躯体内配線コードの芯数が4本であることを確認して接続してください。



■コントローラーユニット詳細寸法



2 ボックスなし取付けの場合

●取付けの際は次の内容をお守りください。

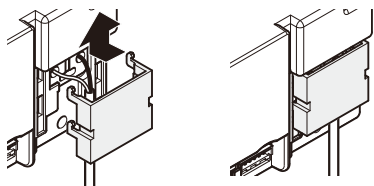
- 1) パネル壁の奥行きが47mm以上の場所に付けてください。
- 2) AC100V配線と小勢力配線が接触しないように取付けてください。
- 3) 壁に埋込む商品ですので、商品埋込み深さおよび配線スペースに注意してください。
- 4) 端子カバーを取付けてください(詳細は下記「端子カバーについて」を参照ください。)
- 5) 下記、はさみ金具(別売品)を使用してください。

端子カバーについて

AC100V端子にグラスウールなどが接触するときは、内線規定により、端子カバーを取付けてください。

■端子カバーの付け方

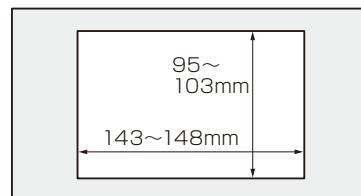
ツメをミゾ(4カ所)に差込み、上へあげます。
(外すときは、逆の手順になります。)



■適用はさみ金具(別売品)

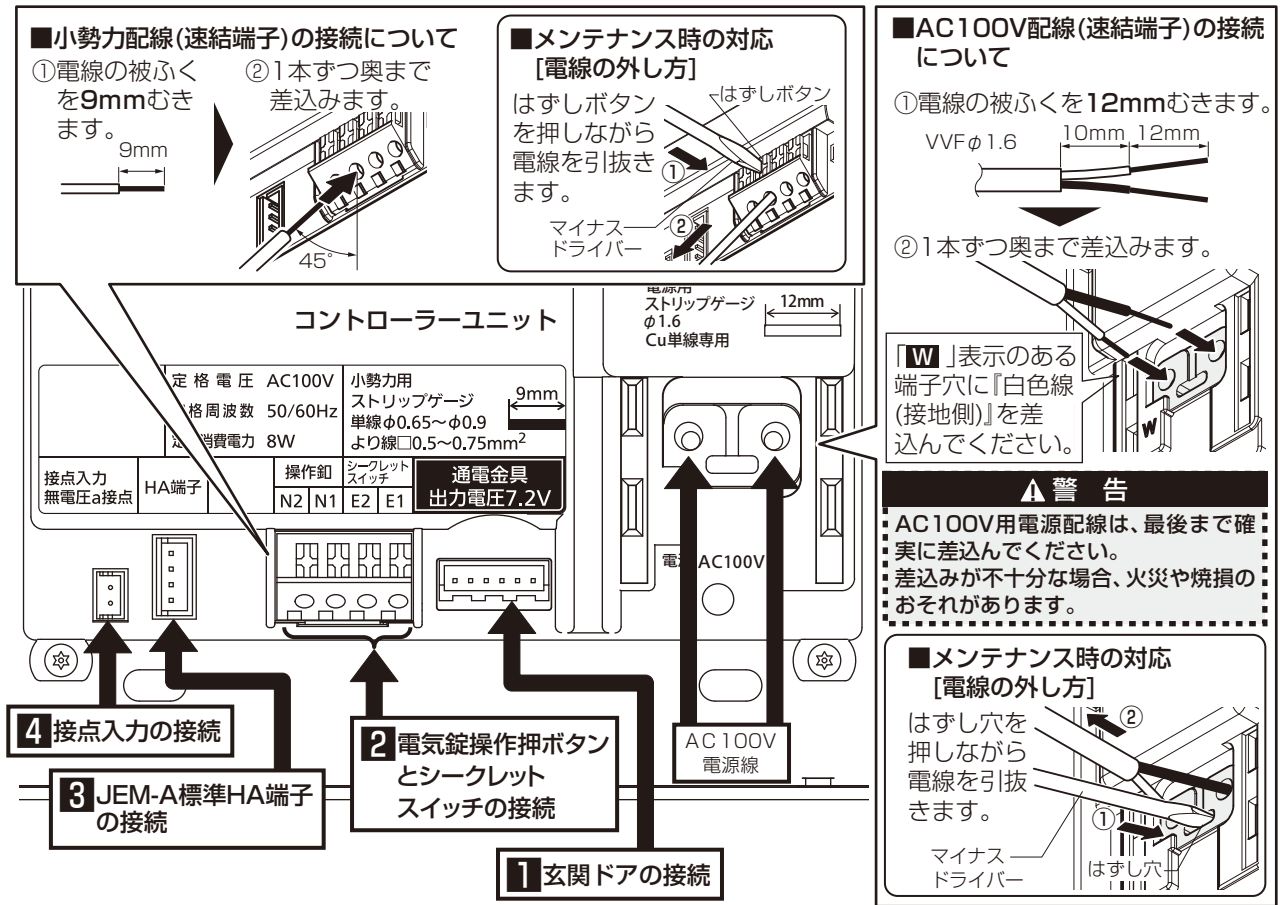
対象壁	パナソニック(株)製はさみ金具品番
9~30mm厚の石膏ボードまたは合板	WN3998

■壁の穴あけ寸法



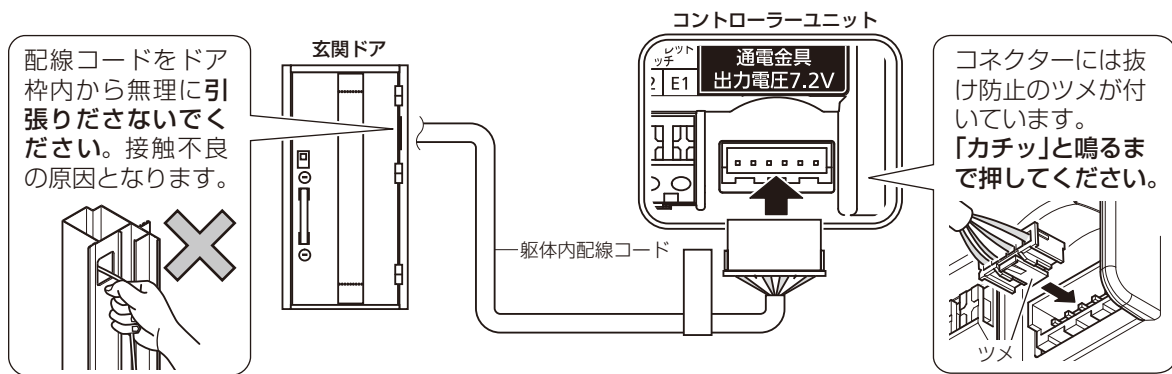
その他オプション品の取付けは、各器機に付属されている説明書に添って作業を行ってください。

■配線工事方法

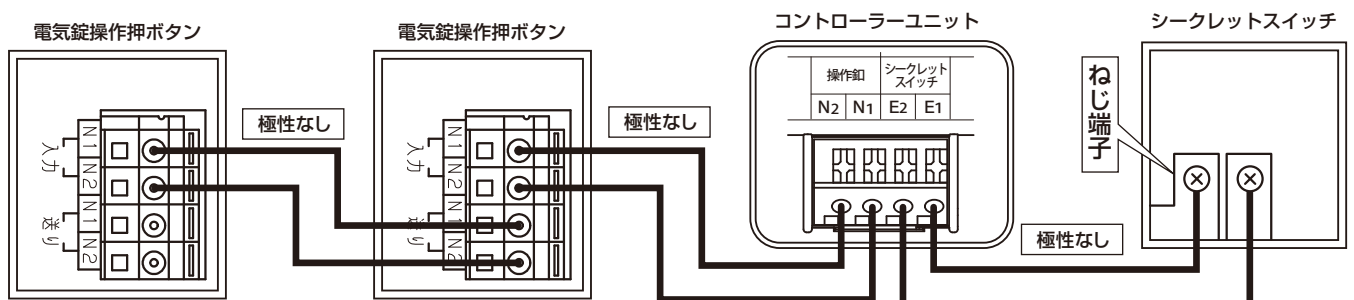


1 玄関ドアの接続

- 躯体内配線コード(10m)が届く範囲にコントローラーユニットを設置してください。
- ※ オプションの躯体内配線と交換で最大20mまで延長可能。継ぎ足しによる延長はできません。

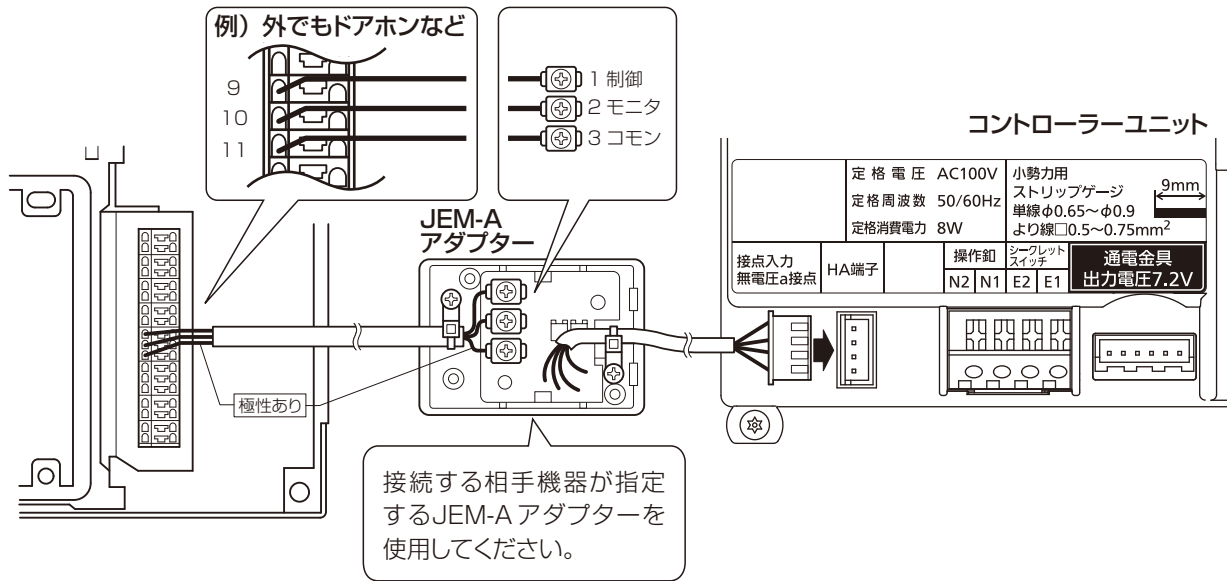


2 電気錠操作押ボタンとシークレットスイッチ(オプション品)の接続

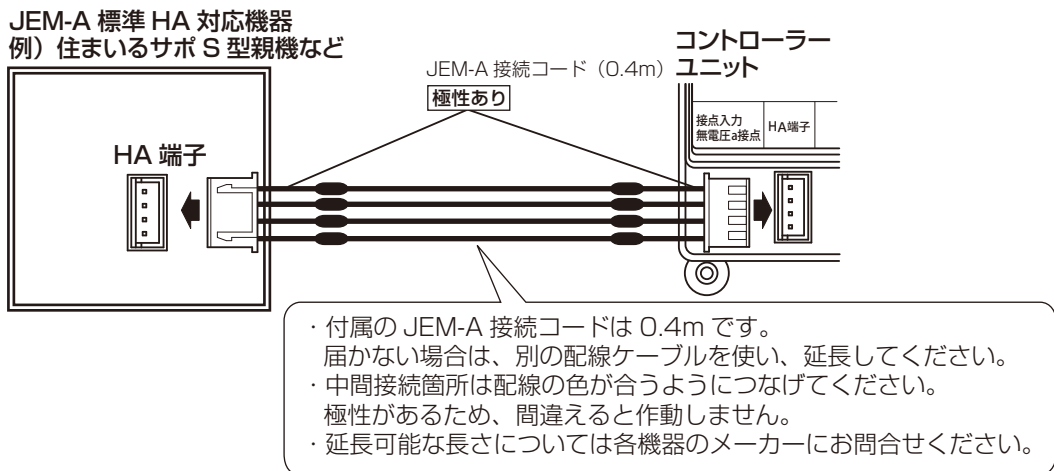


3 JEM-A標準HA端子の接続

■JEM-Aアダプターを使用する機器と接続する場合



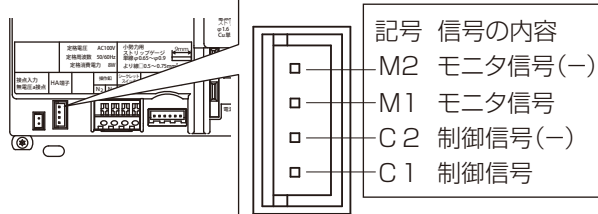
■JEM-A標準HA端子を持っている機器と接続する



■JEM-A標準HA端子について

コントローラーユニットはHA端子を装備しておりJEM-A 標準 HA 対応で電気錠と接続できると記載がある機器と接続することが可能です。また、その機器から解錠/施錠の遠隔操作を行うことができます。

コントローラーユニットのHA端子について



- モニタ信号
 - ・施錠時 M1 端子がHigh(M1-M2端子間に15V/6mA)
 - ・解錠時 M1 端子がLow(M1-M2端子間に0V)
 - 制御信号
 - ・C1-C2端子間に0.2~0.3秒の無電圧a接点入力(短絡)で電気錠が反転動作
- ※反転動作とは施錠中は解錠、解錠中は施錠する動きのことです。

4 接点入力の接続

無電圧a接点の入力端子になります。

付属のオプションケーブルを使用し、無電圧a接点に対応する他社機器と接続することで接続機器側から電気錠の施解錠操作ができます。長さが足りない場合は別途配線を手配し延長してください。

※a接点入力で接続する機器側の動作を保証をするものではありません。接続可否については、機器側のメーカーへお問い合わせください。

※接点入力を使用しない場合、オプションケーブルは接続しないでください。

